

第26期 第4回 常任理事会議事録

日時：1991年2月2日 10時00分—11時45分

場所：気象庁 第2会議室（5階）

出席者：浅井 竹内 小倉 村山 藤谷 木田
青木 松原 安成 佐藤 中村

議事

A. 報告事項

1. 各委員会報告

「庶務」主なものは次の通り

- ・共催依頼 1件
- ・日本学術会議第15期会員候補者 1月30日に届書提出
- ・各支部活動状況報告

「会計」

- ・1990年12月の収支残高報告

「天気」

- ・1月号の内容と2月、3月号の予定が報告された

「国際学術交流」

- ・国際学術研修会、会議などの情報を早めに「天気」に掲載するようにする。
- ・IUGGの情報を「天気」に掲載する

「各賞」

- ・朝日国際奨励金と岡田賞の推薦依頼があった。
- ・今年度の秩父宮記念学術賞を大井正一会員が受賞

「藤原賞」

- ・対象者は自薦を含めて6名、委員会で審査の結果、荒川昭夫氏、北川信一郎氏を候補者とした。細則に基づいて理事投票を行う

「教育と普及」

- ・夏季大学の計画が報告された

「通信メディア」

- ・パソコン通信の12月着信件数と内容の報告があった。

B. 審議事項

1. 第3回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入等について
新入会員 個人 22名 退会 個人 67名
 団体 1 以上承認された。
3. 「天気」の次年度の印刷契約は、1991年1月に編

集書記が交替したこともあり、遅滞なく発行するためには三報社と契約したいと提案され審議の結果、前例とせず今年度限りの措置として承認された。

・「天気」の著作権について、慣行をしらべて著作権について検討することとした。

4. 国際学術交流基金の次年度の運用について審議の結果次のとおり決まった。

- ・助成は次年度も若い会員を優先する。
- ・助成金の予算枠は120万円とし、前期80万、後期40万とする。
- ・基金の見直しにより予算枠の増額を検討する。

5. 日本学術会議会員候補者選考について

- ア. 選考委員投票結果、賛成多数で理事の承認を得て理事長から下記のとおり指名された。

選考委員会

竹内 清秀（日本気象協会）

岡村 存（気象研究所）

山元龍三郎（京都大学）

松野 太郎（東京大学）

木田 秀次（気象研究所）

- イ. 選考委員会から会員候補者及び推薦人等について選考結果が理事長に報告された。内規に基づく投票結果賛成多数で理事の承認を得て第15期日本学術会議会員及び推薦人等は次のとおり決まった。

会員候補者 浅井 富雄

推薦人 竹内 清秀

岡村 存

山元龍三郎

松野 太郎

推薦予備人 木田 秀次

以上の結果に基づいて日本学術会議会員推薦管理委員会に所定の手続きをとることとした。

6. 事業報告・事業計画案及び収支予算案について資料が配布され各委員会が持ち帰り検討することとした。

7. その他

増田善信・藤田敏夫会員から地球規模の環境破壊を懸念し、即時中止を要求する「訴え」についてのお願いが常任理事会に提出された。このことに

1991年3月

ついて、審議の結果、学会として「訴え」を表明することは、戦争による環境への影響が現れるこ

とを学問的に裏付けたと誤解される恐れがあるとの判断により「訴え」を表明しないこととした。

編集後記：今年も、今までのところは雪は多いものの暖冬で経過していますが、これで5年連続の暖冬ということになりそうです。二酸化炭素等の温室効果による地球温暖化と合わせて考えてみると、今後はこれくらいの気温が平年並みになっていくのでしょうか。この本が会員のみなさんのお手元に届くころには、平年では関東以南の平野部まで桜の開花が進んでいますが、今年はいった

いどこまで北上しているのでしょうか。

新しい職場や、新しい学校に進まれた方も多数いらっしゃると思いますが、一日も早く新しい環境に慣れて活躍されますように。また、中東からの気象データが入手出来るような平和な日が一日も早く来ることを祈って止みません。

(T. K)